

報道関係各位

ワタミグループ、大分県臼杵市の森林再生事業に参画 水源涵養の森林づくりの協力に関する宣言書に調印

ワタミグループ(本社:東京都大田区、代表取締役社長:桑原 豊)は、大分県臼杵市との間で「水源涵養の森林づくり」の協力に関する共同宣言を2014年5月10日に調印致しました。臼杵市が推進する森林再生事業に民間企業として参画し、森林所有者(市民)と行政(臼杵市)とワタミグループが連携して「森林経営計画」^{*1}を申請し、森林づくりを行います。

■森林再生事業の参入の背景

世界有数の森林国である日本の森林面積は、国土の67%を占め、そのうち個人が所有する私有林が7割を占めており、私有林の46%が人為的な作業をより必要とする人工林となっています(林野庁調べ)。また、そのほとんどは1~2haの小規模な森林であり、近年は森林所有者の高齢化や担い手不足により、森林整備^{*2}が行われていないのが現状です。本取り組みは、森林・林業の再生、地域社会の活性化、森林環境保護の推進を行動指針に掲げ、豊かな森林づくりに協働して取り組むことで、臼杵市の産業が活性化し、市民の方々の生活が潤う持続可能な地域社会の構築の一助となることを目的としています。

今年度は、臼杵市有林並びに私有林の現況調査(測量や植生)を実施し、「森林経営計画」の作成及び認定申請を行う予定です。優良木は森林所有者へ還元する他、ワタミグループ国内外食店舗や介護施設等での間伐材の利活用や、自社農場での木質バイオマス資源の利用など、持続可能な森林資源の活用を模索し、森林所有者や地域社会への還元を目指します。

※ 1 森林経営計画とは、「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、自らが森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画

※ 2 森林の多面的機能を維持・向上するためには、植栽、下刈り、間伐等によって森林を育てる森林整備が必要

■ワタミグループと臼杵市の関わり

【農業】2006年に大分県から企業誘致の一環として、ワタミグループの子会社で農業生産法人有限会社ワタミファーム(所在地:千葉県山武市、代表取締役社長:磯野 健雄)に農業の企業参入に関する相談を受け、農場開設プロジェクトを開始。2008年から臼杵市・社団法人臼杵市環境保全型農林振興公社の協力のもとに土壌改善に着手。2009年2月、大分県と参入協定を締結。2010年4月、ワタミファーム臼杵農場(7.4ha)を開設し、6月に有機JAS圃場認定取得。9月にさつま芋を初収穫。地元企業様とさつま芋を原料とした芋焼酎を開発し、ワタミグループ外食店舗で販売。焼酎に引き続き、2012年度はすいーとぼてと、2013年度は生姜ダレを開発し、主にワタミグループの宅食事業で販売。その他、臼杵市内の小学校生徒による収穫体験や、学校給食として有機野菜を供給。

【森づくり】2013年2月、ワタミグループが支援するNPO法人 Return to Forest Life(理事長:渡邊 美樹)、臼杵市、大野郡森林組合と協働で、大分県が進める「企業参画の森林づくり」の一環として、2023年までに市有林「臼杵の森」(約0.1ha)で森林整備に取り組む趣旨の協定を締結。2012年5月に植生調査を実施し、再生計画を立案。

《本件に関するお問い合わせ先》

ワタミ株式会社 広報グループ 矢野 正太郎

〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3 電話 03-5737-2784 E-mail: press@watami.net



地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

WATAMI